

地区会の活動方向性について

地区会は、発達障害児者を支援する保護者や教育・福祉関係者が学び合う環境づくりを行い、関係する方々が支え合う社会を目指します。

具体的な方策として、活動拠点となる地域での相談、学習、研修会を開催し、保護者、支援者、専門家を交えて話し合いの場をもうけます。

これらの活動を通して、親同士、支援者、専門家とのネットワークを広げていきます。

学び合いや話し合う活動だけでなく、関係機関との連携をつくり、福祉の向上に働きかけていきます。

関係機関との連携においては、

- 1、療育について児童相談所、療育センター、地域大学、親の会に、有用な情報提供、相談活動など結びつきをはかります。
- 2、教育について養護学校、教育委員会、地域大学、親の会に、関係機関との理解啓発、意見交換など結びつきをはかります。
- 3、就労について就業生活支援センター、茨城労働局、地域大学、親の会に、関係機関との理解啓発、意見交換など結びつきをはかります。

今後、地区活動を通して関係する方々との継続的な交流をはかり、発達障害児者を支援する方々の人材育成に寄与します。